

マウリッツォ・ローリ話題の最新アルバムが、都内のCDショップでも大きく展開されて



ジャコ・パストリアスの写真が表紙にあり、タワーレコードの各種店の19日、HMV渋谷店の試聴ブースでは拡大されたジャコ・パストリアスの写真が目を引く。試聴ブースには、ジャコ・パストリアスのアルバムが並べられている。

本誌3月号でも特集記事で紹介したイタリアン・ベーシスト、マウリッツォ・ローリの新作「ジャコ・パストリアスに捧ぐ・ムード・スウィングス」が大手CDショップを中心に大きく展開されている。日本国内に於いて、マウリッツォの名は一部の音楽ファンには知られておらず、しかもインディ・レーベルからのリリース。にもかかわらずHMV、タワーレコード、山野楽器等CDショップでは大型パネルや試聴ブースを設けるなどの熱の入れようだ。「ジャコ」と

いうリスナーへの強力なフックがあるのはもちろんだが、それ以上に、歴代最もクオリティの高いジャコ・トリビュート作として評価される傑出し革新的な音楽性が、各ショップ担当者を熱くしている。ベーシストのソロ作という枠を超え、オーケストラやヴォーカリストも配しアレンジされたサウンドが、ジャズのみならずマクロな音楽ファンにアピールするという確信を、送り手が持っているのを感じておきたい。

Maruzio Rolli